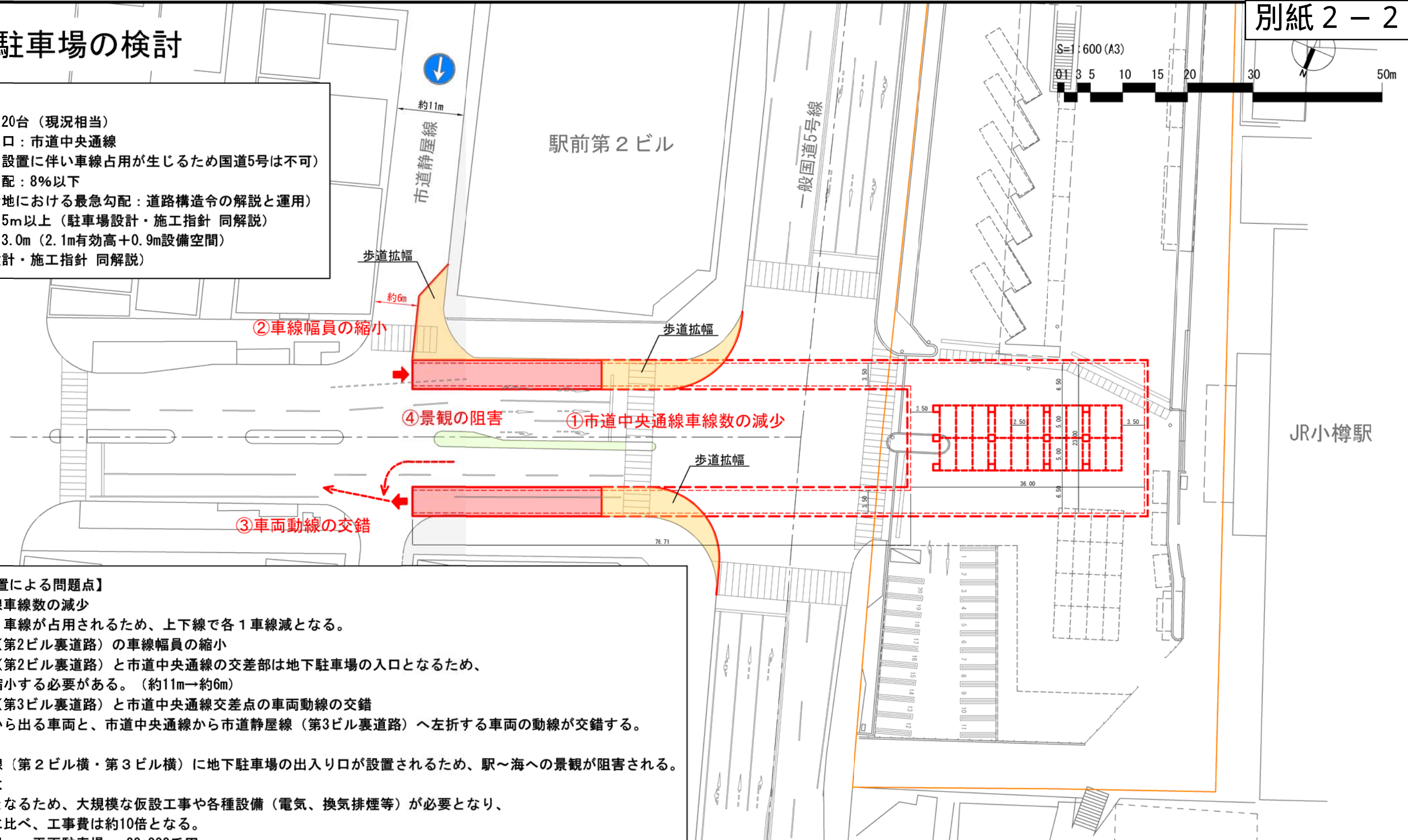


# ■地下駐車場の検討

## 【検討条件】

- ・ 駐車台数：20台（現況相当）
- ・ 駐車場出入口：市道中央通線  
（出入口に設置に伴い車線占用が生じるため国道5号は不可）
- ・ スロープ勾配：8%以下  
（積雪寒冷地における最急勾配：道路構造令の解説と運用）
- ・ 土被り：2.5m以上（駐車場設計・施工指針 同解説）
- ・ 天井高さ：3.0m（2.1m有効高+0.9m設備空間）  
（駐車場設計・施工指針 同解説）



## 【地下駐車場設置による問題点】

- ①市道中央通線車線数の減少  
出入口により車線が占用されるため、上下線で各1車線減となる。
- ②市道静屋線（第2ビル裏道路）の車線幅員の縮小  
市道静屋線（第2ビル裏道路）と市道中央通線の交差部は地下駐車場の入口となるため、車線幅員を縮小する必要がある。（約11m→約6m）
- ③市道静屋線（第3ビル裏道路）と市道中央通線交差点の車両動線の交錯  
地下駐車場から出る車両と、市道中央通線から市道静屋線（第3ビル裏道路）へ左折する車両の動線が交錯する。
- ④景観の阻害  
市道中央通線（第2ビル横・第3ビル横）に地下駐車場の出入り口が設置されるため、駅～海への景観が阻害される。
- ⑤工事費の増大  
地下構造物となるため、大規模な仮設工事や各種設備（電気、換気排煙等）が必要となり、平面駐車場に比べ、工事費は約10倍となる。  
▼概算工事費 ・平面駐車場：33,000千円  
・地下駐車場：366,000千円

## 【検討結果】

駅前広場内の地下に駐車スペースは確保できるものの、地下駐車場出入口が設置される市道中央通線に課題が多く、地下駐車場へは市道中央通線以外からのアクセスはできず、駅前広場内に地下駐車場を設置することは困難である。

